STAMPEX JAPAN

NATIONAL PHILATELIC EXHIBITION
AT THE POSTAL MUSEUM JAPAN TOKYO SKYTREE TOWN SORAMACHI

第8回全国切手展

スタンペックスジャパン2027

競争出品案内

2027
STAMPEX JAPAN
STAMP EXHIBITION

2027年4月3日－4月5日（土日月）
会場：郵政博物館（東京スカイツリータウン・ソラマチ）
主催：（公財）通信文化協会、（特非）郵趣振興協会
後援：日本郵便株式会社（予定）ほか

https://stampex.jp

郵政博物館
POSTAL MUSEUM JAPAN

特定非営利活動法人
郵趣振興協会
Society for Promoting Philately

STAMPEX JAPAN

NATIONAL PHILATELIC EXHIBITION
AT THE POSTAL MUSEUM JAPAN TOKYO SKYTREE TOWN SORAMACHI

どのような特徴の展覧会なのでしょうか?

「スタンペックスジャパン」は、国際郵趣連盟（FIP）の定める審査規則に従い、FIP 公認審査員を主体とした審査チームが審査する全国切手展、かつ出品者への個別指導の場です。

個人で楽しむ分にはコレクション作りは自由ですが、このコレクション作りに競技の概念を持ち込んだのが競争切手展です。ヨーロッパ発祥で100年以上の歴史があり、この間に多くのコレクションが競争切手展の場で、FIP 公認審査員により審査されてきました。

競争切手展は、陸上競技の様な絶対価値の測定ではなく、フィギュアスケートの様な、審査規則に従い、審査員が審査を行う審査競技（100 点満点）です。

日本人が国際切手展に頻繁に参加するようになったのは 1980 年代以降です。欧米諸国に比べると歴史が浅い為、ルール違反の作品やルール上大幅な減点を免れない作品もありました。しかしながら、FIP 公認審査員の日本人が少なかった為、それ以外の収集家が見ようみまねで審査するしかない全国切手展も少なくありませんでした。この為、国内で良い賞を獲得した作品の中には、世界に進出した瞬間に、大幅に減点されてしまう作品が後を絶たない状態でした。

スタンペックスジャパンは、この様な悔しい思いをする競争展出品者を少しでも減らす為に2019年夏に企画された全国切手展です。原則として FIP 公認審査員（伝統郵趣部門）のみで審査委員会を結成し、各審査員には、FIP 規則の更なる理解と最新の運用の動向をご理解いただく様お願いしております。

また、出品者には、会期二日目の会場におけるクリティーク（審査員による個別指導）への参加を強く推奨し、作品改善に役立てていただいています。

この結果、過去の本展出品者の多くが、その後開催された国際切手展で、改善された作品を展示できる様になり、期待通りのスコアを獲得することができました。

この様に、本展覧会は、「出品者の為」を第一に考えて開催される全国切手展です。近い将来、国際切手展への出品を検討している方はもちろん、当面は国内切手展での作品改善をメインに考えている方も是非ご出品をご検討ください。

主なスケジュール

（2026年）

１０月２６日	出品募集要項（IREXほか）の発表、ホームページ公開
１１月　１日	出品申込開始
１２月２１日	出品申込締切
１２月２７日	選定結果を出品申込者に郵送、事前審査の開始

（2027年）

１月　１日	展示作品選定結果の発表（HP等）
３月２７日	作品搬入日
４月　２日	審査
４月　３日	展覧会開幕（5日まで）、審査結果発表 18:30-20:30 [於、東京駅前 日本外国特派員協会パーティールーム] ジャパン・フィラテリストサミット2027 兼 スタンペックスジャパン2027授賞式（司会：三宅 民夫 元NHKアナウンサー）
４月　４日	クリティーク（審査員との対話）
４月　６日	撤去・作品返却

郵政博物館 POSTAL MUSEUM JAPAN

特定非営利活動法人 郵趣振興協会 Society for Promoting Philately

STAMPEX JAPAN

NATIONAL PHILATELIC EXHIBITION
AT THE POSTAL MUSEUM JAPAN TOKYO SKYTREE TOWN SORAMACHI



ジャパン・フィラテリスト・サミット2025
兼 スタンペックスジャパン2025 授賞式

※2025年3月29日(土)
※18時 開場　18時半 開宴
※日本外国特派員協会(FCCJ) パーティルーム
※特別協賛：スタンペディアオークション株式会社
服装：男性はネクタイの着用をお願い致します



ジャパン・フィラテリスト・サミット2026
兼 スタンペックスジャパン2026 授賞式

※2026年3月28日(土)　*Sat, March 28*
※18:00 開場 18:30 開宴
※日本外国特派員協会(FCCJ) パーティルーム
※特別協賛：スタンペディアオークション株式会社
服装：男性はネクタイの着用をお願い致します

郵政博物館
POSTAL MUSEUM JAPAN

特定非営利活動法人
郵趣振興協会
Society for Promoting Philately

競争切手展の作品を改善する方法 その１
規則・運用の理解と、作品作りの実践

本来自由な趣味であるフィラテリーに、敢えて競技の概念を持ち込み、審査ルールという制約を設けたのが「競争切手展」です。従って、制約なく収集を楽しみたい方、審査ルールの遵守と理解に積極的でない方には競争切手展はお勧めいたしません。

しかし、この様な前提があるにも関わらず多くのフィラテリストがこの競技に魅了されているのは、「競争切手展」がフィラテリーの華であり、結果として希少なコレクションもそこに集まってくるからでしょう。

本展覧会は、作品作りの段階で出品者が「競争切手展」の審査規則とその運用を知ることができる様に各種情報提供に積極的な競争切手展です。FIP 審査特別規則の日英対訳を PDF で提供しているほか、『競争展で上位の賞を獲得する』観点で実施された各種講演の保存ビデオをいつでも閲覧できるように提供しています。

これらの情報は、『Exhibitor's PORTAL』というサービスとしてオンラインで提供されており、その中には、パソコンリーフ雛型の提供等も含まれています。是非ご活用いただき、規則・運用を理解した上で、作品作りに落とし込み、『競争展で上位の賞を獲得』できる提出作品を完成させていただければ幸いです。

Q&A よくある質問

Q1 スタンペックスジャパンへの出品物の記述言語は英語でなければダメですか？
A1 日本語だけで記述して頂いた作品も毎年出品されており、歓迎します。

Q2 スタンペックスジャパンに出品し、初めて金銀賞以上の審査結果を得た場合、国際展への出品資格を得られますか？
A2 はい。スタンペックスジャパンは全国切手展ですので国際郵趣連盟の規則に従い、金銀賞以上の作品は国際展出品資格を得ます。

Q3 まだ競争切手展に慣れていません。現時点では国際展参加まで考えが及んでいないのですが、それでも出品して良いのですか？
A3 国内競争切手展でより良い点数（メダル）を獲得したいと真摯に考える作品であれば、どの作品でも歓迎します。

Q4 出品しないのですが、「出品者ポータル」だけ有料でも良いので使わせてもらえないですか？
A4 同サービスは、スタンペックスジャパン出品者のみに提供される特典です。それ以外の方への提供は予定されていません。

Q5 作品名称やタイトルリーフ等について、出品申込のあとで変更することは可能でしょうか？
A5 実行委員会の管理する媒体（冊子・HP）においては、2027年1月10日までであれば、変更を承ります。なお、審査員に配布される事前審査資料の変更締め切りは2026年12月26日です。

『競争展で上位の賞を獲得する』
観点で実施された講演の一例







スタンペックスジャパン２０２７レギュラー部門 *1 出品申込特典

Exhibitor's PORTAL（出品者ポータル）のご案内

スタンペックスジャパン２０２７は、展示フレーム上限が９０フレームに限定された全国切手展です。必ずしも全ての応募者の作品を受領できない可能性があり、これまでにレギュラー部門 *1 で何点かの応募作品に展示をお断りいたしました。

しかし、出品してクリティークを受けられないにせよ、競争切手展に関心のある方の熱意を応援したいと考えております。

そこで、過去提供してまいりました、セミナー動画やツール・マニュアル類をまとめた、競争切手展に参加する方に役立つホームページを作成し、スタンペックスジャパン２０２７のレギュラー部門 *1 への出品申込をされた方に提供（無料）することにしました。

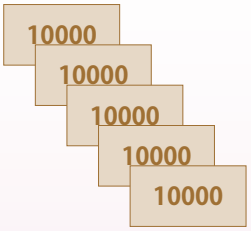
利用期間は、2026 年 12 月 1 日から 2027 年 4 月 30 日を予定しており、出品申込書の、事務局受理後から（アクセプトのいかんに関わらず）ご利用が可能になります。

*1「レギュラー部門」は、伝統郵趣、郵便史、ステーショナリー部門の総称です。
ワンフレーム部門、郵趣文献部門への応募の場合は、本サービスは提供されません。



スタンペックスジャパン特別賞等の副賞

副賞のコイン類は、過去提供された金貨・銀貨等のイメージで、その内容は毎回変更される可能性がございます。

			
グランプリ	**審査員特別賞**	**手嶋康賞**	**新人賞**
審査委員会は、最大4名に対して、グランプリ１名を含む特別賞を授与します。 特別賞には原則として貴金属製品の副賞を授与します。 過去のグランプリには、「米国1853年 2.5ドル金貨」「フランス 2007年製ユーロ導入五周年記念5ユーロ金貨」等市場価値の高いプレミアムコインが授与されてまいりました。	**本展覧会は、一番最初から、審査員特別賞には、ホンモノの金貨を提供することにしてまいりました。 「明治二分金」は、日本で切手が誕生した頃に近い時代に流通していた金貨です。**	**竜切手の優れたコレクションを築くと共に、その博識を生かした出版活動により、顕著な成果を残された故手嶋康氏を記念する賞で、日本の伝統郵趣・郵便史・ポスタルステーショナリー作品の中から１作品に対して授与します。 2026年は『1986年天皇陛下御在位60年記念壱萬円銀貨』が授与されました。**	**記載の２項目を満たす出品者1名に「5年以内にFIP/FIAP等国際切手展に出品した場合、金５万円が贈呈される」目録を授与します。 1)本展レギュラー部門で75点以上を獲得した日本人 2)FIP/FIAP国際競争切手展に一度も出品経験がない**

競争切手展の作品を改善する方法 その２
クリティーク（審査員との対話）の活用

クリティークは、出品者が本展覧会に競争出品した作品に関し、直接、審査員から個別に今後の改善点等について助言を受ける機会です。

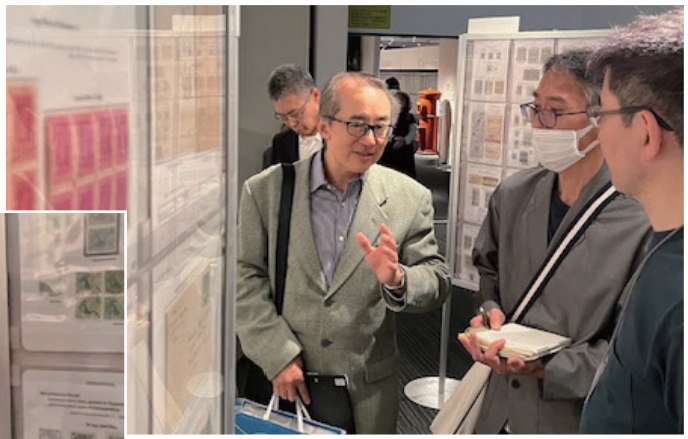
『**出品者への適切なフィードバックを通じ、コレクションの発展に寄与する**』ことを目指す本展覧会では、このクリティークを最も重要な行事の一つと考えています。

クリティークは会期２日目の開場後まもなく開始することを予定しています。会場へお越しいただけない出品者に対しては、ビデオ会議サービスを通じたクリティークも提供予定ですので、全ての出品者に、必ずご参加いただきたいと考えています。

クリティークでは『世界で開催され、ＦＩＰ登録審査員により審査される国際切手展で上位の賞を獲得する為には、どのような点を改善すれば良いか』について、審査委員会より、国際展の潮流を踏まえてお話ししていただきます。

この点を踏まえた上での質問・相談に対しては審査員は、原則として、時間を限定せずに対応いたしますので、疑問点などは予め準備して臨むことをおすすめいたします。

クリティークは、出品者以外の参観も許可しますが審査員が認める場合を除き私語を禁止します。また、主催者以外によるクリティークの動画撮影は禁止します。



外国人審査員によるフィードバックでは、出品者の希望により、同時通訳サービスを提供します。写真左は香港から招聘された Andrew Cheung 審査員。



出品者は会場で、自分の作品のクリティーク第１担当審査員だけでなく、全ての審査員に対してクリティークを依頼することができます。写真中央は、いつも多くの人が改善指導を仰ぐ、佐藤浩一審査員長。



クリティークは、私語禁止を条件に出品者以外の参観を認めています。日本にいながらにして国際展の傾向を学ぶ事ができる貴重な機会として多くの参観者が聴講しています。写真左は台湾から招聘された、陳友安審査員。

	2022 年	2023 年	2024 年	2025 年	2026 年
クリティーク対象作品数	14	12	18	15	14
クリティーク参加者数	13	11	17	13	13
クリティーク参加率	92.9%	91.7%	94.4%	86.7%	93.0%
オンラインクリティーク[*1] 利用者数	2	0	1	0	0

*1 ビデオ会議サービスを通じたクリティーク

クリティーク（審査員との対話）への参加率は９割を超えており、出品者が本展覧会に出品する目的の一つとして認識されています。

割当られた審査員とのクリティークの終了後に、それ以外の審査員に対しても作品改善に向けてアドバイスを貪欲に依頼することを推奨しています。終了後に、今後の改善に向けて分らない点をなくす事がクリティークの目標です。

国際展で躍進された スタンペックスジャパン出品者の皆様の声

誰にも忖度しない、国際展基準で審査してもらえる全国展です



福田真三 氏

スタンペックスジャパンに最も期待していたのは、国際展と同様の基準での評価と意見を頂けることでした。期待通りで、十二分に作品作成に生かすことができたと思います。

国際展に足繁く通うことができない大多数の出品者にとって、勘違いをしていることは多かれ少なかれあると思います。

国際展への出品に慣れておられない方は、いきなり出すのではなく、スタンペックスジャパンに繰り返し出品して、国際展と同一基準のクリティークで講評を聞き、その講評を基に改善していくのが良いと思います。（URUGUAY2025 金賞 = 国内展 大金賞相当）

自分の今いる場所に応じた作品改善のアドバイスがもらえる場



藤本博嗣 氏

収集にブランクがあった私は、審査基準の理解をすすめようと考え、国際展標準の審査とクリティークが受けられるスタンペックスジャパンへの出品を始めました。２０２１年のことでした。

そして、翌年の２０２２年は、自分の収集方向に疑問が生じたのでそれを解消しようと思い、参加しました。

スタンペックスジャパンは、なんと言っても審査結果票が詳細ですので、作品改善の道しるべとなります。収集している中国国家郵政時期のカバーは高騰しており入手が困難でなかなか収集も進みませんが、次の出品を目指して審査結果票に書かれた内容をもとに収集を進め、国際展大金銀賞を受賞することができました。

審査基準を自分の中で明確化するとき、国際展出品を目指すときは、ぜひともスタンペックスジャパンに出品すべきだと思います。自分の今いる場所に応じてクリティークで適切な助言をしていただく事ができます。（JAKARTA 2024 大金銀賞 = 国内展 金賞相当）

出品者への適切なフィードバックを通じて、コレクションの発展に寄与する

第８回全国切手展「スタンペックスジャパン2027」作品募集要綱

（特非）郵趣振興協会 /（公財）通信文化協会（郵政博物館）

競争切手展は、欧州のフィラテリーから生まれ、世界の様々な国籍・人種のフィラテリストが参加する国際郵趣連盟（以下、ＦＩＰ）の規範作りの下、永年に渡り進化し続けてきたフィラテリーの文化であり、審査競技です。

全国切手展「スタンペックスジャパン2027（以下、本展覧会）」は、この審査競技を適切に運用する競争切手展で、審査員の人選はじめ、我が国で開催される競争切手展の中で、ＦＩＰの審査基準に最も準拠する度合いが高く、審査結果が世界的に通用する競争切手展です。また、出品者への適切なフィードバックを通じてコレクションの発展に寄与することを目指すことも、本展覧会の特徴の一つです。

つきましては、以下の記載内容により、皆様からの競争出品を募集いたしますので、ふるってご応募ください。

１．実施

会期：2027年4月3日（土）～4月5日（月）（３日間）
会場：郵政博物館
（東京都墨田区・東京スカイツリータウン内）
規模：90フレーム
主催：（特非）郵趣振興協会 /（公財）通信文化協会（郵政博物館）

２．審査体制

審査は、ＦＩＰの定める国際切手展の審査基準（以下ＦＩＰルール *1）に準拠して行い、各出品作品に得点を与えます。これを実現する為に、主催者は、世界的に通用するＦＩＰルールの理解と運用に優れた人物を審査員長として招聘することに注力する事とします。また、審査員長が決定した後は、審査業務ならびに審査員の選任は後述する審査員会に一任し、審査業務に関する、審査員会の独立を妨げないものとします。

審査員長は、第４項の部門の審査資格を持つＦＩＰ登録審査員を中心に、審査員の人選を行い、審査員会を組織します。審査の方式、賞の決定については、現在の世界での競争切手展の潮流に従ったものとなる前提で、審査員長がその運用を決定します。

なお、現在世界で開催されている国際切手展に対する切手コレクションの出品資格の１つは、『ＦＩＰルールに準拠して開催される全国切手展で75点以上を獲得すること』です。本展覧会で75点以上を獲得した作品は、それに該当することとなり、国際切手展への出品資格を獲得します。

*1 本展においては、以下の規則になります。
GREV, SREVs & Guidelines（伝統郵趣, 郵便史, ステーショナリー, 郵趣文献, ワンフレーム）
なお、非標準部門の1フレーム作品には、前記ワンフレームのガイドラインを使用し、また同部門の2フレーム以上の作品には、同ガイドラインを準用します。

３．授賞の概要

非標準部門を除き、審査得点に応じて、それぞれ、大金（90点以上）、金(85点以上)、大金銀（80点以上）、金銀（75点以上）、大銀（70点以上）、銀（65点以上）、銀銅（60点以上）、銅（55点以上）の各賞を授与します。非標準部門への出品作品には審査得点のみを授与します。

大金賞受賞作品の内の一作品にグランプリを授与することがある他、特別賞を授与することがあります。

４．出品部門

出品申込書→

- 伝統郵趣部門
- 郵便史部門
- ステーショナリー部門
- 郵趣文献部門
- 非標準部門

＊非標準部門は１）伝統郵趣、２）郵便史、３）ステーショナリーに限る

５．フレームの割当数と出品料およびリーフサイズ

・伝統郵趣部門、郵便史部門、ステーショナリー部門のフレームの割当数：５または８フレームです。
・非標準部門のフレーム数：１、２もしくは３フレーム
・出品料は以下の通りとします。

部門	出品料	
	（５フレーム）	（８フレーム）
伝統郵趣 郵便史 ステーショナリー	15,000円 *郵趣振興協会会員は8,500円	24,000円 *郵趣振興協会会員は13,600円
郵趣文献	5,000円 *郵趣振興協会会員は4,000円	
非標準部門	1フレーム 5,000円(4,000円) 2フレーム 7,000円(5,500円) 3フレーム 9,000円(7,000円) *カッコ内は郵趣振興協会会員向け出品料	

・第7項で後述する展示作品の決定後、出品料支払の詳細を連絡します。支払期限は2月1日です。
・リーフサイズは自由ですが、切手コレクション展示パネルの1フレームの大きさは横98cm×縦123cmですので、その範囲におさまるように作品を作成してください。

6. 出品規約と出品申込

出品申込に際しては、所定の出品申込書に必要事項を記載の上、タイトルリーフを含む３リーフ*2をカラーコピーもしくはメール添付画像と共に、本展覧会の出品申込書の送付先にお送りください。

なお出品申込書に記載の通り、出品申込書の提出を以て、本作品募集要項の記載内容に従うことを承諾したものと見なします。

出品申込時に提出したタイトルリーフは、その後のリーフ制作の工程で変更があっても構いません。

*2 文献部門の場合は、タイトルリーフの代わりに、表紙を含む3ページのカラーコピーをお送りください。

出品申込書の送付先（各種お問合せ先）
・電子メール　info@kitte.com
・ファクス　03-6700-1585
・郵便　102-0083 海事ビル内郵便局留置 郵趣振興協会

出品申込の受付期間
2026年11月1日（日）～2026年12月21日（月）

7. 展示作品の選定および選定結果の通知

本展覧会の規模は90フレームと小さい為、出品申込された作品を、全て展示することが困難な場合も想定されます。この為、審査委員会では、出品申込の受付期間終了後に、出品申込時に提出された書類等を下に、展示作品の選定を行います。

展示作品の選定結果は、2027年1月1日に当協会のホームページで発表しますが、それに先立ち、全ての出品申込者に郵便等で結果をご連絡します。

なお選定の結果展示頂けない作品に対する理由開示は一切行いません。また、出品申込が受理された後の展示キャンセルは原則として受け付けません。

8. 展示作品の搬入と展示作業および展示作品のセキュリティ（文献部門以外の部門）

・第7項で展示が認められた出品申込者（文献部門を除く）には、本展覧会専用の出品物提出用の封筒（以下、出品封筒）を送付します。出品物は、この封筒に入れて提出してください。
・出品物は取り外し可能な保護カバーをつけ、各リーフの表面右下に展示順の番号を記してください。
・作品の搬入は、郵送と郵政博物館への持参で受け付けます。詳細は出品封筒の送付時にご案内差し上げますが、現時点では、以下の通り予定しております。

郵送による作品の送付（予定）
2027年3月26日（金）午前 を配達指定日時とし日本郵便のゆうパックにてお送りください

持参による作品の搬入（予定）
2027年3月27日（土）13:00-14:00の間にご持参ください

送付先・持参先
131-8139 墨田区押上1-1-2
東京スカイツリータウン・ソラマチ９階
郵政博物館 スタンペックス係

・会期中の作品のセキュリティについて相応の対策を講じますが、作品の輸送時、保管時、会期中の展示・撤去の際のマテリアルの紛失・汚損などについては責任を負いません。出品物の保険については出品者個人の責任と負担において付保するものとします。
・物理的に切手コレクション展示パネルに格納できない作品（厚すぎるリーフ含めて）やＦＩＰルール上禁止されている黒色ないしは濃色のリーフが含まれている作品は、その一部もしくは全部の展示を中止します。なお、これ以外にも主催者は理由を開示することなく、出品作品の展示を拒否する等の権限を有しますが、展示されなかった場合も出品料は返却されません。
・〆切を過ぎて到着した作品は審査の対象外となります。作品未着の場合、出品料は返金されません。

9. 外国からの出品に対する特例

外国に居住する出品者からの出品に関しては、第８項にも関わらず、以下を選択できるものとする。
・2027年3月27日までに全ページをスキャンし、PDFファイルとして送付することを条件に、作品搬入日時を2027年4月2日（金）10時から12時もしくはその前日に行うことを認める。詳細は英文規約に表す。

10. 展示作品の搬入（文献部門）

・第7項で展示が認められた文献部門の出品申込者には、出品作品の提出に関する案内をお送りします
・文献部門の作品提出は原則として郵送のみを受け付け、提出期限は2027年1月31日を予定しています。

11. 作品の返却

作品は、4月6日夕方に返却を開始します。会場引取を予め希望した方以外は、実行委員会指定の梱包で着払いセキュリティゆうパックにて出品者指定の郵送先に返送します。搬入時の出品用封筒以外の個人的な梱包等は、主催者の判断により廃棄することがあります。

12. 審査結果の発表と授賞式

展示作品は、審査委員会が会期前に審査を行った上で、開場までに賞を各作品の第１フレーム左上に表示致します。

枝点を含めた審査結果は、同会場で配布すると共に、ホームページで発表します。

授賞式は、切手展初日（４月３日）の夜に開催予定のジャパンフィラテリストサミット２０２７（着席会食、有償）において、実施する予定です。

13. クリティーク

クリティークは『審査員との対話』と和訳されることもありますが、出品者が本展覧会に競争出品した作品に関し、直接、審査員から個別に今後の改善点等について助言を受ける機会です。

『出品者への適切なフィードバックを通じ、コレクションの発展に寄与する』ことを目指す本展覧会では、このクリティークを最も重要な行事の一つと考えています。

クリティークは会期２日目の開場時刻10分後より開始予定です。会場へお越しいただけない出品者に対しては、ビデオ会議サービスを通じたクリティークも提供予定ですので、全ての出品者に、必ずご参加いただきたいと考えています。

クリティークでは『世界で開催されるＦＩＰ登録審査員により審査される国際切手展で上位の賞を獲得できる為に、どのような点を改善すれば良いか』について、審査委員会より、国際展の潮流を踏まえてお話ししていただきます。

この点を踏まえた上での質問・相談に対しては審査員は、原則として、時間を限定せずに対応いたしますので、疑問点などは予め準備して臨むことをおすすめいたします。

クリティークは、出品者以外の参観も許可しますが審査員が認める場合を除き私語を禁止します。また、主催者以外によるクリティークの動画撮影は禁止します。

14. 出品者の個人情報の取扱、作品の撮影・掲載

出品者の個人情報は、法令により開示を求められた場合を除き、出品者の同意なしに業務委託先以外の第３者に開示・提供することはありません。ただし、出品目録ならびに受賞リスト等には、審査結果に加えて、氏名・住所（都道府県名まで）を掲載しますので、ご了承ください。

世界の競争切手展において、フラッシュを使用しない作品の撮影は、参観者に許されており、本展覧会もその運用を踏襲します。また、出品受付時にご提出いただいたタイトルリーフを含むページのコピーは、展覧会のPRを目的として、本展覧会の目録等に掲載すると共に、ホームページを通じて、主催者以外の方がダウンロードしご利用いただけるようにします。

会期中には、ご来場いただけない方を対象に、ホームページ、オンライン会議サービスや動画配信サービスを利用した、作品紹介を行います。この用途に供する為、展示作品は全ページを撮影・スキャンします。

15. 開催を中止した場合の対応

主催者は、作品募集開始時点で想定できない感染症の流行等の事由により、本展覧会の一部ないし全部について、中止の決定を行うことがあります。展覧会の開催を中止した場合の出品料の取り扱いは下記の通りとします。

（１）FIP登録審査員による審査並びに書面等によるクリティークまでを主催者が提供でき、出品者がそれを希望する場合：20%返金。

（２）FIP登録審査員による審査並びに書面等によるクリティークまでを主催者が提供できない場合、もしくは出品者がそれを希望しない場合：100%返金。

STAMPEX JAPAN 2027 National Philatelic Exhibition Individual Regulations (IREX) Abstract for overseas exhibitor

Society for the Promotion of Philately / Japan Postal Museum
3-5 April 2027 – JAPAN POSTAL MUSEUM

The purpose of this Individual Regulations (IREX) for STAMPEX JAPAN 2027 is to inform the exhibitors about the practice specific to this exhibition. All exhibitors should read this regulations before sending applications for STAMPEX JAPAN 2027. This is an abstract for overseas exhibitors and the Japanese text shall prevail in the event of any discrepancies in the text arising from translation.

1. The STAMPEX JAPAN 2027 Exhibition organizers

1.1. The STAMPEX JAPAN 2027 National Philatelic Exhibition is organized by Society for the Promotion of Philately and Japan Postal Museum.

1.2. STAMPEX JAPAN 2027 will take place at Japan Postal Museum between 3-5 April 2027.

2. Regulations

2.1. The exhibition is governed by the following regulations:
- FIP Regulations for exhibitions (GREX)
- General Regulations of the FIP for the evaluation of competitive exhibits at FIP exhibitions (GREV)
- Special Regulations and Guidelines for the evaluation of competitive exhibits (SREV) – one SREV per class
- One Frame Exhibits (Narrow Theme) Guidelines are applied or applied by analogy for the non-standard class
- This Individual Regulations (IREX)

3. Award

With the exception of the non-standard class, awards will be given according to judging scores: Large Gold (90 -), Gold (85 - 89), Large Vermeil (80 - 84), Vermeil (75 - 79), Large Silver (70 - 74), Silver (65 - 69), Silver bronze (60 - 64) and Bronze (55 - 59), respectively. Entries in the Non-standard class will only be awarded judging points.
A Grand Prix may be awarded to one of the Large Gold awarded exhibit, and several special prizes will also be given to some exhibits.

4. Classification of exhibits

4.1. The competitive exhibits are classified in the following Classes:
- Traditional Philately
- Postal History
- Postal Stationery
- Philatelic Literature
- Non-Standard

* Non-Standard class is limited to 1) traditional philately, 2) postal history and 3) postal stationery.

5. FRAME ALLOCATION, and FRAME FEES

5.1. Exhibits are allocated 5 or 8 frames for three classes of Traditional Philately, Postal History and Postal Stationery.

5.2. In Non-Standard class, exhibits are allocated one, two or three frame(s).

5.3. The participation fee in the Competitive Classes is 3,000 Yen per frame (currently $20 at exchange rate in late 2026). The participation fee in the Non-Standard Classes follows. Single frame: 5,000 Yen, 2 frames: 7,000 Yen, 3 frames: 9,000 Yen.

5.4. The participation fee for Philatelic Literature class is 5,000 YEN

5.5 When the application is accepted, all the exhibitors must pay the participation fee to the Exhibition organizers no later than Feb. 1st, 2027.

5.6 We recommend PayPal for sending fees from overseas exhibitors, and PayPal fee must be paid by the exhibitor.

5.7. A frame can hold 16 sheets in four rows of four (4 x 4) contained in transparent protectors, not exceeding 29.5 cm tall by 23 cm wide.

6. CONDITIONS OF ENTRY

6.1. When applying your exhibit to this exhibiton, fill in the prescribed application form and send it together with a colour scanned image of three leaves including the title page.
By submitting the application form, as indicated on the application form, you agree to abide by the contents of the call for entries.

6.2. The entry form must be duly completed in English or in Japanese.

6.3. A separate entry form is required for each exhibit.

6.4. Completed entry forms must be received by the Organizing Committee no later than 21 December 2026 through the following email address. ***info@kitte.com***

6.5. The Organizing Committee will reply a notification of receipt of the aplication to the exhibitor. If an exhibitor doesn't receive this notificdation within a week, it must go to spam folder and not received by the Organizing Committee.

7. NOTIFICATION OF ACCEPTANCE

7.1. Due to the small size of the exhibition (90 frames), it may be difficult to accept all the exhibits submitted. For this reason, the Organizing Committee will select exhibits to be accepted after the entry period, based on the documents submitted at the time of application.

7.2. The accepted exhibits will be announced on the official website on January 1st, 2027, prior to which all applicants will be informed individually. No reason will be given for non-accepted works, and withdrawal of an exhibit will not be accepted once an application has been accepted.

8 EXHIBIT PRESENTATION

8.1. The write-up of the exhibit (except class L - Literature) must be in English or in Japanese.
8.2. All exhibits must be mounted on white or light-coloured pages and each sheet must be placed in a transparent protective cover. No exhibit mounted on black or dark- coloured pages will be accepted.
8.3. The sheets must be numbered consecutively, on the front at a corner, to aid the correct mounting of the exhibit. (Lower right preferred)

9. DELIVERY OF EXHIBITS
9.1. Overseas Exhibitor must send a PDF files containing all the pages to the Organizing Committee no later than Mar. 27th, 2027.
9.2. The official reception period of physical exhibit for overseas exhibitors at Japan Postal Museum is between 10:00 and 12:00, Apr. 2nd, 2027, however, we are flexible if an exhibit is delivered by 12:00 Apr. 2nd, 2027.
9.3. The Organizing Committee does not have any plan for Customs Clearance documantation.
9.4. In the event that an exhibit is delivered late or fails to be delivered, or in the event the page size or language does not comply with the provisions of Articles 8.1 or 5.7, the exhibit will not be judged, and the participation fee will not be refunded.

10. PHILATELIC LITERATURE EXHIBITS
10.1. Exhibitors in Philatelic Literature Class must send two copies of each title or volume, which will not be returned. The literature will first be placed at the disposal of the Jury and will later be on display in a philatelic reading area throughout the duration of the Exhibition. After the exhibition all literature will be at the disposal of the Organizing Committee, and one of each will be donated to Japan Postal Museum.
10.2. The Organising Committee requires Philatelic Literature exhibits to be received no later than 31 January 2027 in order that preliminary judging may take place.
10.3. The address to which Philatelic Literature exhibits must be sent follows:
Stampedia, inc. Parkhouse Kojimachi Place #803, 4-7 Kojimachi, Chiyoda, Tokyo, 1020083, JAPAN
Customs declarations should state the book is a sample of zero value.

11. INSURANCE AND SECURITY
11.1. Exhibitors are responsible for securing appropriate insurance for their exhibits for the entire time that the exhibits are out of their hands. The Organising Committee is not responsible for such insurance, and all expenses in securing insurance are the responsibility of the exhibitor. The Organising Committee will not be liable for any loss of or damage to any exhibit, in whole or in part, whatever the cause.

12. DISMOUNTING OF EXHIBITS
12.1. Overseas exhibitors will be able to hand in their exhibits directly at Japan Postal Museum on 17:30 Apr. 5th, 2027 without prior arrangement.

13. JUDGING OF EXHIBITS AND AWARDS
13.1. Exhibits will be judged and awarded prizes by the jury appointed by the Organizing Committee consisting of accredited FIP and FIAP judges in accordance with the principles in the GREV and SREVs.
13.2. The Jury will allocate awards and special prizes in accordance with elements of Article 8 of the GREX.
13.3 Awarding ceremony will be held at Japan Philatelist Summit 2027 (seated dinner, paid for), which will be held between 18:30 and 20:30, Apr. 3rd, 2027.
13.4 Jury feedback session will start at Japan Postal Museum at 10:10, Apr. 4th, 2027 either in Japanese or in English.

14. LIABILITY
14.1. The Organising Committee, the Jury, the voluntary personnel, and employees accept no liability for any loss or injury suffered by exhibitors or members of the public arising directly or indirectly from any cause whatsoever related to the exhibition.
14.2. The laws of Japan shall govern interpretation of these regulations, and any legal cases arising shall be settled within the jurisdiction of the courts of Japan.
14.3. This is an abstract for overseas exhibitor, and in the event of any discrepancies in the text arising from translation, the Japanese language text shall prevail.

15. CONTACT ADDRESSES
15.1. The Organising Committee
Official Website: https://stampex.jp
The Secretary of the Stampex Japan 2027, Mr YOKOYAMA Hiromi
Email: info@kitte.com
15.2. Non-Profit Organaization, Society for the Promotion of Philately
Official Website: https://kitte.com
President, Mr. YOSHIDA Takashi
Email: yoshida@kitte.com